

『まいごばなし』

※スパークスのボトムアップ・リサーチを通じて、
MY小話として舞妓さんが日本株の情報をお伝えします。

スパークスの日本株の情報発信レポート

第33号(2010年3月5日)



「エジソン時代の技術からの脱皮」

いつも、朝起きて、仕事して、寝て、という変わらない生活をしていても、社会は変化していきます。一般的に、人間は長期よりも短期の変化に目を奪われやすい傾向にあると言われておりますが、来月や来年の変化は心配するものの、将来設計は意外に現実の延長線で考えがちなのが人間の本性かもしれません。

しかし、いつの間にか、社会は変化します。気が付いてみれば、レコード針で聞くレコードがCDやデジタルオーディオになっており、メールやインターネットも、つい10年前までは、使う人の方が少なかったわけです。その意味で、実は社会は大きく変化しつつあり、もしかしたら、私たちは今大きな変化の時代に生きているのではないかと思います。脱石油やグリーンテクノロジー等で社会が変わると騒がれておりますが、大きな変化はそのような分野に限定したものではなく、あらゆる分野で進行しつつあるのかもしれません。

先日ある方が、「21世紀は脱エジソン技術の時代で、新しい技術がいよいよ本格化する時代だ」とおっしゃっていました。20世紀は第二次世界大戦以降、豊かな世界が築かれてきましたが、気が付けばレコード、電話、白熱電球、電池など、基本はエジソンの時代に萌芽した技術が大きく一般の人々に広まり、豊かさを享受したと言えるでしょう。エジソンを師と仰ぐフォードがガソリン車を大きく広め、社会を変えたことも一例かと思えます。

エジソン時代の技術からの移行



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『まいこばなし』

スパークスの日本株の情報発信レポート



しかしながら、**今この発明を凌駕する技術**が次々と生まれています。昔と違って、一人の天才が全てを変える時代ではありませんが、白熱電球がLED電球へ、電話がインターネット、デジタル通信へ、そしてエジソンの時代に発明された鉛やアルカリ電池から、リチウムイオン電池などへと移行しつつあります。そして、やはりエジソンの時代に発明されたガソリン車が、電気自動車などの新しい自動車へと変化し始めています。

最近、自動車部品関連の企業を調査する際は、決まって「自動車が全て電気自動車に移行したら御社はどうなりますか？」と聞いています。すると、各企業の捉え方そのものに違いが見えてきます。「20年位は普及しないのではないのでしょうか」という意見がある一方、「かなり早く普及することを考えています」という意見もあり、必ずしも自社の部品が使われるかどうかとは関係なく意見が分かれているのが面白い現象です。今後、現在電気自動車に使われている部品であっても、新たな参入者の増加によって環境が厳しくなることもありますし、使われないと思われた部品が使われるかもしれません。このあたりの企業の戦略、経営手腕により10年後、20年後が大きく変わると思います。

振り返ればレコードからCDへの転換が、アナログオーディオにおいて優位性を誇っていた日本の電機産業の衰退の発端だったとも言えるでしょう。残念ながら日本の電機産業で、この転換の恩恵を受けた企業はあまり見られなかったように思います。一方、着うた、着メロなどの配信やその関連の小さい企業はある程度恩恵を受けたとも考えられます。

この新しい技術が萌芽、発展する時代を**不安・脅威と考える企業と面白い機会であると楽しむ企業**があるかと思えます。私たちの企業調査においては、ガソリン車が何年残るからこの企業は大丈夫、という消極的な発想ではなく、**新しい変化を“楽しむ”企業を探すことが今後の大きなテーマとなる**と考えています。何事も楽しんでる人、企業には勝てません。これから激変する技術の変化の恩恵を享受する企業が現れることに期待して、企業を探してみることはとても楽しいと思えます。皆様もぜひ、新しい変化を感じながら、企業を探してみてください。



※当コラムは執筆者の見解が含まれている場合があり、スパークス・アセット・マネジメント株式会社の見解と異なることがあります。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。